

令和3年度 第7回へきなん市民環境会議定例会 会議録

と き 令和3年12月2日(木)  
午後7時  
ところ 碧南市役所談話室2、3  
司 会 竹原

- 出席者 14名
- 欠席者 2名
- 傍聴者 0名

1 全体協議

(1) CO2排出ゼロ、脱炭素社会と個人の取組(角谷委員より)

【説明内容】

- ・脱炭素社会を目指すため個人に出来る取組み
- ・食品ロスの現状(消費者庁公表資料)
- ・2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体の最新情報(11月30日現在)

【各委員の角谷委員との質疑等】

- ・コンビニで発生する食品ロスはどうなっているか。  
→あまり公表されていないが、団体などに回しているところもあるようだ。
- ・ニュースで話題になった、オリンピックの食品ロスはこの中に含まれるのか。  
→最新情報が令和元年度なのでこのデータには入っていないが、含まれると思われる。

【事務局より】

- ・二酸化炭素排出実質ゼロ表明(ゼロカーボンシティ)については、第1次環境基本計画時から市でスマートハウス等の取組みを推進している。今後も、そういった取組みを継続していくことで意思表示としたい。

【おわりに】

- ・地球温暖化はすべての生物が影響してくるため、個人の取組みが重要となる。できるところから取り組んでみては。

(2) 明石公園フェスティバルの活動報告について【11/7(日)】

(3) へきなん自転車散歩の活動報告について【11/28(日)】

明石公園：環境宣言14人、アンケート10人、周辺清掃 6人

自転車散歩： // 11人、 // なし、周辺清掃10人

参加者は多かったものの、市内よりも市外の参加者が多かった。

## 2 その他連絡事項

### (1) 油ヶ淵水環境モニタリングについて【12/5(日)9:00 鷺塚公民館】

担当：中根、菅原、鈴木恵子、加藤、竹原

通常どおり実施。

高田委員より、モニタリング地点No. 14について草で入りにくいと相談。

→とりあえずNo. 21または22から入るようにしてみてもどうか。

県とのモニタリング会議の際に、竹原会長から相談してもらえらることになった。

竹原会長より、来年度以降のふれあいフェスティバルの開催について福祉課から市民会議として意見を求められているとのこと。意見を出し合った結果、市民会議としては環境宣言を募る場となっていることから継続を希望することとなった。また、ふれあいフェスティバルがなくなるとしても何らかの形で続けてほしいという声も多く見られた。

また、先日実施のクリンピーについて竹原会長から詳細の確認があった。

→参加人数5,500人、可燃1,610kg、浄化デーは300kgぐらい。

次回開催 令和4年1月6日(木)  
碧南市役所談話室2、3